

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	独語演習		
英文授業科目名	Intermediate German		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	湯川 敬弘		
居室	東1-607		

公開E-Mail	授業関連Webページ
t-yukawa@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a) 主題：ドイツ語が日本語と異なる発想の言語世界をもっているということを1年の授業で理解しましたので、さらにドイツ語の文法に沿って、文章の諸成分を解析し、構造を正しく把握した上で、意味連関を押さえて、正しく文章を読めることを訓練します。その訓練と共にドイツの文化と敷いては日本文化との違いを色々な話題とともに理解する。</p> <p>(b) 達成目標：internetなどに書かれている文章が基本的に読めるようになる。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>独語第一、第二</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>選択独語第一、第二</p>
--

電気通信大学 平成21年度シラバス

【教科書等】

教科書：『外国人のためのドイツ語』（郁文堂）とプリント

参考書：1年次の教科書持参

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

3限は授業主題により忠実にゆっくりと進める。文法にまだ十分に自信のない諸君むけ発音の徹底的訓練をする。

(b) 授業の進め方：最初は復習をかねて易しい文章から始め、もう一度文法的知識を確実なものとしていきます。全員あてます。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

基本的な暗記事項、すなわち定冠詞、不定冠詞、名詞の格変化表、動詞の不規則変化表を完全にそらんじておくこと。これを覚えていないと、授業について行かれなくなる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法： 課題 40% 期末試験 60%

(b) 評価基準：すべての課題を果たしていること、発音の基礎がみに付いていることが最低基準。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前に連絡すること。

【学生へのメッセージ】

大学は教えてもらうところではなく、自分から学ぶところ。先生はその手段。大いに質問をしよう。

【その他】

インターネットの普及で、ドイツ語を読むことができるということは諸君にとって
有利な技能になっています。